

webクリエーター 学科

1 年

ホテル・ブライダル 学科

1 年

医療事務 学科

1 年

建築デザイン 学科

1 年

公務員 學科

1 年

情報システム 学科

1 年

情報ビジネス 学科

1 年

WEBクリエーター 学科

1 年

ホテル・ブライダル 学科

1 年

医療事務 学科

1 年

建築デザイン 学科

1 年

公務員 學科

1 年

情報システム 学科

1 年

情報ビジネス 学科

1 年

webクリエーター 学科

2 年

ホテルブライダル 学科

2 年

医療事務 学科

2 年

建築デザイン 学科

2 年

公務員 學科

2

年

情報システム 学科

2

年

学科

コースを選択してください(DELで消去)

1 年

科 目 名	就職支援 IA							学 期	前 期	
担当教員	AD、島田勝彰		科 目 区 分	専 門	授 業 方 法	演 習	分 類	必 修	单 位 数	1
学習目的	働くことの意義と重要性について考える。									
授業内容	就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。									
学習目標	働くことの意義と重要性を理解し、社会人となるための心構え、知識、マナーを身につける。									
使用テキスト	Bit就職ハンドブック									
週数	授業計画									
1	【オリエンテーション】 「何のために働くのか」「社会人としての心構え」「学生と社会人の違い」について(グループワーク)									
2	非認知能力の重要性、学科が目指す非認知能力について (学修到達度自己評価ヒアリングシート)									
3	働くことの責任と意義(グループワーク)									
4	【意識は行動の原点】 仕事の基本となる8つの意識について学ぶ(グループワーク)									
5	会社の仕事の決まりやしくみを理解する(グループワーク)									
6	人間関係とコミュニケーション(グループワーク) 非認知能力の振り返り自己分析①(学修到達度自己評価ヒアリングシート)									
7	ビジネスマナーの基本									
8	ビジネス文書「報告書の書き方」									
9	【礼儀としての身だしなみ】 スーツ着こなしほミナー									
10	インターンシップの事前授業(外部講師)									
11	仕事の進め方(5W2H)(PDCA)と報告・連絡・相談									
12	指示の受け方と「報告、連絡、相談」の重要性とポイントを知る。									
13	業界研究、企業研究、インターンシップ先検討									
14	インターンシップに向けての自己分析(エントリーシート作成)									
15	インターンシップに向けての目標設定									
	評価項目/割合		評 価 内 容							
評 価 基 準	1. 課 題 40 %		課題プリント等からの評価をもとに算出							
	2. 授業姿勢 30 %		出席率および受講マナー、積極的に授業に参加しているか。以上の観点より算出							
	3. テストその他 30 %		確認テスト結果より算出							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

学科

1 年

科 目 名	就職支援ⅡA							学 期	前 期
担 当 教 員	AD、島田勝彰	科 目 区 分	一 般	授 業 方 法	演 習	分 類	必 修	单 位 数	1
学 习 目 的	自己の将来を明確にし、希望職への内定を目指す。								
授 業 内 容	採用試験対策や採用試験の振り返りを行う。								
学 习 目 標	グループワークを通して、様々な価値観に触れ、お互いの価値観の違いを認め受容する中で、対人関係力を身につける								
使 用 テ キ ス ト	Bit就職ハンドブック								
週 数	授業計画								
1	【オリエンテーション】 「目指す職業」「卒業後の自分」について自己分析する(ライフプラン)								
2	模擬面接①(外部講師)								
3	模擬面接②								
4	会社は自分のキャリア形成の場、自分のビジネスキャリアは自分で作る								
5	ビジネス会話の基本								
6	非認知能力の振り返り自己分析④(学修到達度自己評価ヒアリングシート)								
7	不満やクレームを防ぐ方法、再発防止について(グループワーク)								
8	チームワークの意義と重要性・リーダーシップとメンバーシップについて学ぶ① (グループワーク)								
9	チームワークの意義と重要性・リーダーシップとメンバーシップについて学ぶ② (グループワーク)								
10	【マネジメントの基本】 PDCAサイクル、目標から計画を立てる								
11	【マネジメントの基本】 計画の重要性について学び採用試験後の振り返りと対策の重要性について知る								
12	採用試験の振り返り								
13	採用試験の振り返り								
14	企業説明会								
15	企業説明会								
	評価項目/割合								評 価 内 容
評 価 基 準	1. 課 題 40 %	課題プリント等からの評価をもとに算出							
	2. 授 業 姿 势 30 %	出席率および受講マナー、積極的に授業に参加しているか。以上の観点より算出							
	3. テ 斯 ト そ の 他 30 %	確認テスト結果より算出							
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科 目 名	就職支援ⅡB							学 期	後 期	
担当教員	AD、島田勝彰		科 目 区 分	一般	授 業 方 法	演 習	分 類	必 修	单 位 数	1
学習目的	社会で活躍するための強い人材になる。									
授業内容	内定後の社会人ビジネスマナー講習やグループワークによるリーダーシップ、メンバーシップの実践									
学習目標	社会に出てから活躍するためのビジネスマナーや仕事の考え方・基本姿勢を身につける。									
使用テキスト	Bit就職ハンドブック									
週数	授業計画									
1	【オリエンテーション】1分間スピーチ									
2	社会人・職業人としての心構え									
3	非認知能力の振り返り自己分析⑤(学修到達度自己評価ヒアリングシート)									
4	人間関係の築き方について									
5	社会人講話、地域連携									
6	社会人講話、地域連携									
7	社会人講話、地域連携									
8	就業規則と労働法:ワークルールについて学ぶ									
9	1分間スピーチ									
10	卒業後の自分(外部講師)									
11	社会人になる為のビジネスマナー									
12	卒業成果の課題を通してチームワーク、プレゼンテーション能力を高める①									
13	卒業成果の課題を通してチームワーク、プレゼンテーション能力を高める②									
14	卒業成果の課題を通してチームワーク、プレゼンテーション能力を高める③									
15	非認知能力の振り返り自己分析⑥(学修到達度自己評価ヒアリングシート)									
	評価項目/割合	評価 内 容								
評 価 基 準	1. 課 題 40 %	課題プリント等からの評価をもとに算出								
	2. 授業姿勢 30 %	出席率および受講マナー、積極的に授業に参加しているか。以上の観点より算出								
	3. テストその他 30 %	確認テスト結果より算出								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他										

科 目 名	表現力 IA						学 期	前 期	
担 当 教 員	長谷川万葉	科 目 区 分	一 般	授 業 方 法	演 習	分 類		单 位 数	1
学 習 目 的	学習を通して人との関わり合いを体験し、より良いリレーションを築く。社会において活用できるコミュニケーション能力やソーシャルスキルを身に付ける。「人と対話できる」「チームで協働できる」「相手に伝わる表現力を持ち、人前で堂々と発表できる」「社会において自分らしさを發揮しつつ、より良い集団づくりに貢献できる」ことを目指す。								
授 業 内 容	コミュニケーショントレーニングや演劇的手法を取り入れたワーク(インプロ、シアターゲーム)、ソーシャルスキルトレーニング、構成的グループエンカウンター等、様々なグループワークを通して、コミュニケーションを実践的に楽しく学ぶ。								
学 習 目 標	学習を通して、明るい表情、正しい姿勢、相手に伝わる声、開かれた心等、接客やビジネスにもつながる健やかな心と体を育てる。人と関わり合うことの楽しさを学び、自らのコミュニケーション能力を高める。自由な発想力や表現力等、人前でも堂々と発表できるような素地をつくる。								
使 用 テ キ ス ト	適宜、プリントを配布。								
週 数	授業計画								
1	イントロダクション～授業内容の説明 自己分析と目標設定								
2	シアターゲームとコミュニケーショントレーニング								
3	雑談トレーニング								
4	対話と傾聴トレーニング								
5	相手に伝わる話し方トレーニング								
6	個人発表 SHOW & TELL								
7	コンテンポラリーダンス～言葉のいらないコミュニケーションを体験する								
8	インプロ(即興演劇)～「Yes、And」思考を体験する								
9	インプロ(即興演劇)～チーム全員でゼロから創造する								
10	ディスカッション								
11	ディベート								
12	スピーチ								
13	スピーチ								
14	個人発表								
15	まとめ								
評価項目/割合			評 価 内 容						
評 価 基 準	1. 課 題 40 %		授業内での課題(実技やワーク)に対して、①積極的、意欲的な参加 ②失敗を恐れず前向きに挑戦する姿勢 ③チームで協力し合う姿勢 以上の観点から評価する。						
	2. 授業姿勢 30 %		①欠席・遅刻 ②挨拶・授業態度 ③提出物 以上の観点から評価する。						
	3. テストその他 30 %		個人発表、グループ発表等。発表の出来、そこ至るまでの過程、取り組み姿勢を総合的に評価する。						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他	授業の進捗状況、理解度を考慮したうえで、授業の実施順、内容を変更する場合あり。								